

令和6年度事業報告書		事業所名	しおかぜお台場		作成者	原浩文	作成日	R6.3.31
目標	本年テーマ	(計画) デイ利用者ならびに地域住民としおかぜ・職員の距離を縮める						
		(評価) お台場へのご利用者を増やすことができた。						
基本処遇及び運営	■令和6年度処遇及び運営方針に対しての評価							
	(計画)							
	来られたお客様一人一人が「何かした」という実感を持ってもらえるよう、全職員が全利用者へ声掛けを行う。利用者アンケートの実施。							
	機能訓練の効果を全員が説明できるよう、また飽きのこないように運動や身体機能の知識を得る。							
	地域支援委員とともに、地元の健康体操・イベント・行事などへの協力を行う。							
	緊急時の一時避難所機能を備えられるよう備蓄をはじめ、地域にも周知をおこなう。							
	地域開放部分を使ってもらえるように自治会向けに広報を行う。							
	(評価)							
	利用者アンケートは概ね満足を得ている結果となりましたが、「何にかした」という実感を得ているかどうかについては少しあいまいな結果でした。地域への取り組みについては効果があり、お台場(職員・場所)を使って							
	頂けています。							
研修・セミナー	■職員研修計画と実績							
		研修 名称	参加実績	研修 名称	参加実績			
		ケアマネ専門研修Ⅱ	原(1)					
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果							
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果			
		虐待防止委員会(6か月に1以上)	法定研修となっており、意義について確認が行えた					
		介護事故予防委員会	法定研修となっており、意義について確認が行えた					
		感染症委員会(6か月に1以上)	法定研修となっており、意義について確認が行えた					
		事業所会議	主にミーティングの際に行い、法人会議等での内容を伝達した。					

防 災 ・ 災 害	■災害訓練計画・実績				
		訓練予定月	実施月	訓 練 目 的	訓練評価
		令和6年4月	令和6年4月	火災避難訓練	できるだけ介護の方が多く時に行ったがスムーズな誘導が行えた。
		令和6年10月	令和6年11月	火災避難訓練	初めて参加する職員もいたが、問題なく行えた。火事が起こった際の声掛け、役割の連携もあり発見から3分以内の避難完了が行えた。
行 事 ・ イ ベ ン ト	■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)				
	月 度				
	4 月				
		火災避難訓練・春の外出			
	5 月				
		下津井町歩き・生活相談週間・健康講座(夏バテ・食欲減退対策)			
	6 月				
		回顧写真展示会(利用者さんより募集)/4デイ合同運動会			
	7 月				
		防災教室(台風への備え)			
	8 月				
		かき氷			
	9 月				
	10月				
	11月				
		秋の外出			
	12月	BCP(感染症・災害)・感染症訓練・虐待防止・権利擁護			
		正月飾り作り			
	1 月				
		祇園神社等へ初詣(甘酒ふるまい)			
	2 月				
		生活相談週間・生活支援講座(成年後見制度について)			
	3 月				
		春の外出			
(総評) お台場2年目を迎え、特に下津井地域への知名度の向上は計画通り行えた。デイ運営にあたっては利用目標5207回のご利用でしたが、5060回と結果目標に達することはできませんでした。7月までは良かったのですが、夏場からの暑さもあり、利用者の増加の減少がみられ、秋までは新規のご利用者も順調に増えていたが休止される方、終了される方に追いつくことができずに年度の受け入れ計画を達することができませんでした。対策として、居宅事業所への新規の方の紹介依頼や、ご利用者への声掛け、また自サービス内容についても関わりの部分を丁寧に見直すことで徐々に年度末にかけて改善傾向がみられています。 地域支援においては、下津井地区社協(西・東)2か所に事務局として関わり始め、理事長に教えてもらいつつも地域の役員をされている方などに関係性を作ることができるようになりました。お台場の一般利用も毎週のまだかなサロンに加え、2週間に1回地域の方の呼吸法体操、子育てサロン(2団体)、子供向け遊び教室(1団体)、下津井節継承プロジェクト、地域の方の打ち合わせ、イベント選挙会場など様々なご利用を頂くことができました。施設利用以外にも、下津井内各地域へ出ていくことも行えており、高齢者サロン(6団体)への職員派遣、地区社協イベント、その他下津井地区の町おこしイベントにも職員を派遣し、しおかぜの知名度の向上や地域おこしへの協力が行えました。					